

腰椎椎間板ヘルニア・椎弓切除の手術 を受けられる患者さんへ

患者氏名

様

患者様用

主治医署名 :

受持看護師署名 :

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後7日	退院(手術後14日)
達成目標	患者及び家族が手術・麻酔の説明を理解し同意している 手術に安全に臨むことができる 便秘が解消される	手術前の絶飲食指示が守られている	手術・麻酔から早期に回復する 痛みがコントロールできる 手術のキズからの出血がコントロールできる	状態が安定している 痛みがコントロールできる 手術のキズからの出血が多くない 食事が開始できる 肺塞栓症を発生しない	手術のキズからの出血が少ない 離床が可能となる 肺塞栓症を発生しない	手術のキズからの出血がない 肺塞栓症を発生しない	痛みがコントロールできる 手術のキズが化膿しない	手術のキズの治癒が良好で抜糸ができる 退院について患者・家族が理解する 神経症状が悪化しない
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ	麻酔科の診察があります	手術室で点滴を行います		点滴を行います 	問題なければ夕方の抗生物質の点滴後、点滴除去します 		薬剤師からの服薬指導があります	
処置	毎日、検温させていただきます 必要時下剤内服し、浣腸を行いません	ストッキング着用、手術衣に着替えます 装具類はすべて外していただきます 手に点滴が痛くないようにするためのシールを貼ります	マスクで酸素を口元に流します 手術後の肺塞栓症を予防するためにストッキングを着用、足のマッサージを行います 足首の運動も積極的に行ってください	手術のキズからの出血が多い場合のみガーゼ交換を行います ストッキングを着用、足のマッサージを行います 足首の運動も積極的に行ってください	ガーゼ交換を行います ストッキングを着用、足のマッサージを行います 足首の運動も積極的に行ってください	自由に車イスに乗れるようになる、歩行器歩行が安定するまで、ストッキングを着用、足のマッサージを行います 足首の運動も積極的に行ってください	ガーゼ交換を行います	抜糸を行います
検査	血液検査を行う場合があります 術後に使用する腰のコルセットを処方します		手術後、手術室でレントゲン検査を行います	血液検査を行うことがあります			レントゲン検査、血液検査を行います	
活動安静度	特に制限はありません	制限はありません	体の向きを変えたいときは看護師を呼んでください	手術のキズからの排液用の管(ドレーン)が抜ければ車椅子へ移動していただきます 終日、腰のコルセットを着用していただきます	痛みの程度に応じて、車椅子への乗車、歩行器歩行が可能となります		手術後7日目より、座って腰のコルセットの着脱が可能です	
食事	絶飲食の説明をさせていただきます	飲んだり食べたりできません		担当医の許可が下りれば食事を取っていただきます				
清潔	入浴をしていただきます 男性の患者さんはヒゲを剃っていただきます			全身清拭と着替えを行います(その後は週に2度の予定です)	週1回(水曜日)洗髪を行います			抜糸後、翌日からシャワーができます
排泄	制限はありません	手術予定開始時間の30分前には排泄をお済ませください	ベッド上での排泄となります 排尿用の管が入っています		手術のキズからの排液用の管(ドレーン)を抜去後はトイレに行けるようになりますので、状態に応じて排尿用の管を抜去し、車椅子もしくは歩行器にてトイレに行きます			
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	手術に向けて担当看護師から入院経過の概略についての説明があります	静脈血栓症予防のため、ストッキング着用、下肢運動の必要性等に関して説明を行います	担当医から手術に関する説明があります。 					退院後の生活について説明させていただきます (正しい姿勢・コルセットの着用について) 経過が良いようなら退院を含めて今後の相談を行います

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。